

平成28年度 学年 [ 中1 ] 教科 [ 技術・家庭 ]

科目・分野		週時間数	クラス	担当者	
技術・家庭		2	A～C	別府・中前	
目 標		<p>&lt;技術分野&gt; コンピュータを用いた情報処理への興味・関心を高めて、基礎的な知識と技術を習得した上で、その活用について自ら考え、適切に利用していく姿勢を身に付ける。</p> <p>&lt;家庭分野&gt; 実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活・住生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、その理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p>			
大切に育てたいもの		関心・意欲・態度	創意工夫する能力	生活の技能	知識・理解
		<p>&lt;技術分野&gt; コンピュータ活用に関する技術への関心と、安全に、よりよく使おうとする態度</p> <p>&lt;家庭分野&gt; 生活について関心をもち、生活をよりよくするために進んで実践しようとする態度</p>	<p>&lt;技術分野&gt; コンピュータを使って、目的や条件に合わせて表現や発信を工夫する力</p> <p>&lt;家庭分野&gt; 生活を見直し、課題を見つけ、解決を目指して工夫し創造する力</p>	<p>&lt;技術分野&gt; コンピュータ活用に必要な基礎的な技術</p> <p>&lt;家庭分野&gt; 生活の自立に必要な基礎的な技術</p>	<p>&lt;技術分野&gt; コンピュータ活用に必要な基礎的な知識の習得</p> <p>&lt;家庭分野&gt; 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識の習得</p>
	学期	テスト	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
技術分野	1学期	期末	<p>情報</p> <p>1章 コンピュータと情報通信ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの仕組み</li> <li>・デジタル化について</li> </ul>	<p>コンピュータを構成する装置の仕組みや働きを理解する。コンピュータの基本的な操作やデータの管理方法を身に付け、目的に応じた操作ができるようにする。</p> <p>情報通信ネットワークにおける情報利用の仕組みを理解する。著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルを身に付け、情報を安全に利用できるようにする。</p>	
	2学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの仕組み</li> <li>・情報セキュリティ技術</li> <li>・情報を安全に利用しよう</li> </ul>	<p>メディアの特徴と利用法を知り、制作品の設計ができるようにする。</p> <p>多様なメディアを複合し、表現や発信ができるようにする。</p>	
	3学期	期末	<p>2章 デジタル作品の設計・制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル作品の特徴を考えよう</li> <li>・デジタル作品の設計・制作</li> </ul>	<p>使用するメディアに応じて、個人情報の保護の必要性を理解する。</p>	
家庭分野	1学期	期末	<p>わたしたちの衣生活と住生活</p> <p>1章 衣生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働きを考えよう</li> <li>・自分らしい着方を考えよう</li> <li>・衣服の計画的な活用方法を考えよう</li> </ul> <p>3章 生活を豊かにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫道具・ミシンの使い方</li> </ul>	<p>衣服の働きについて知り、目的に応じて衣服を着用する大切さと、TPOを踏まえた個性を生かした着用について考える。</p> <p>衣服の手入れの必要性について知り、衣服材料や状態に応じて適切な手入れについて理解する。</p> <p>洗濯機での洗濯方法と、洗剤の種類や特徴を理解する。</p> <p>ミシンの各部の名称や役割、構造を理解し、正しく安全に使えるようにする。</p> <p>製作に必要な基礎的な技能について知り、安全に製作するとともに、製作に必要な知識と技術を身に付ける。</p>	
	2学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を豊かにするために基礎技能</li> </ul> <p>1章 衣生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な衣服を選択しよう</li> <li>・衣服の手入れをしよう</li> </ul>	<p>生活を豊かにする物を考え、製作の計画を立てる。計画に沿って、能率よく安全に製作するとともに、目的に応じた縫い方や用具の安全な使い方を理解する。基礎的な縫製技術を身につけ、生活の中で活用できるようにする。完成させ活用することを考えて、製作に意欲的に取り組む。</p> <p>既製服の表示を正しく読みとり、選択、手入れすることができる。</p>	
	3学期	期末	<p>2章 住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの役割と住まい方</li> <li>・住まいの安全について</li> <li>・災害に備えた住まい方</li> <li>・健康で快適な室内環境</li> <li>・よりよい住生活を目指して</li> </ul>	<p>住まいの中で営まれている生活に関心を持ち、地域や生活により、多様な住まいや住まい方があることを知る。</p> <p>住まいの役割と家族との関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。日本の住まいと住まい方の特徴を理解する。</p> <p>住まいの中の危険な場所について、事故防止の対策を考える。災害に備えた住まい方を工夫できる。健康で心地よく住むための室内条件を知り、快適な室内環境を整える方法を考えることができる。</p>	
評価の方法		定期テスト、実技テスト、実習や実技課題への取り組みや完成度、提出物で評価する。			
学習活動の特徴		<技術>情報の授業はコンピュータ教室でスキル差を考慮しつつ実習を行う。 <家庭>「理論」と「実習」の二本柱で進め、その両方を評価する。			
授業の形態		ホームルーム単位の一斉授業・実習（技術分野ではTTを行う。）			
使用教科書		新しい技術・家庭 家庭分野，技術分野（東京書籍）			
用意するもの		教科書・ファイル・裁縫道具・実習材料			